

《QE予測シリーズ No.2013-5》

## 2013年7～9月期GDP統計予測

(1) 2013年7～9月期の実質GDP成長率は、前期比年率+1.6%（前期比+0.4%）と4四半期連続のプラス成長となった見込み（図表1）。もっとも、内需が政策効果により引き続き景気を押し上げた一方、外需は輸出の減少により、GDP寄与度が3四半期ぶりのマイナスに。その結果、成長率は前期（前期比年率+3.8%、前期比+0.9%）から大幅に鈍化。

①公共投資（前期比年率+28.8%、前期比+6.5%）

2月に成立した緊急経済対策の着工・進捗が本格化。震災からの復旧・復興に向けた動きも引き続き高水準で推移しており、景気を大きく押し上げ。

②住宅投資（前期比年率+14.2%、前期比+3.4%）

消費税率引き上げを控えた駆け込み需要などにより、着工戸数は2013年入り後、高水準で推移。進捗展開の結果、2四半期ぶりに大幅に増加。

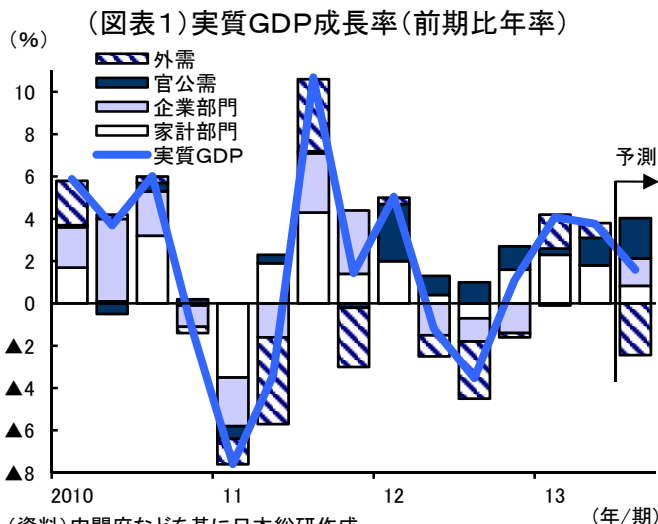
③個人消費（前期比年率+0.6%、前期比+0.1%）

耐久財消費やサービス消費を中心に引き続き底堅く推移しているものの、景況感や消費者マインドの改善一服を受けて、個人消費全体の勢いは鈍化。

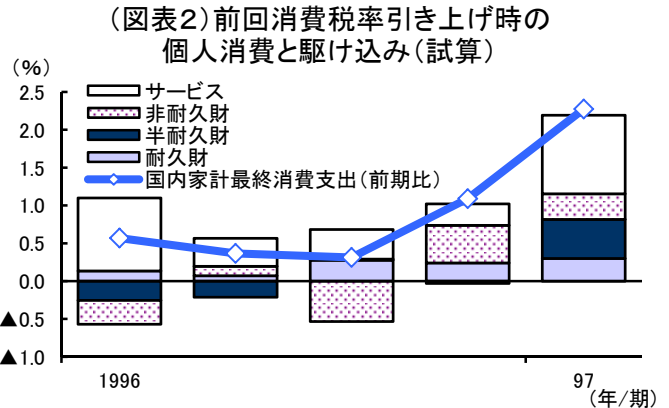
④外需（前期比年率寄与度▲2.1%ポイント、前期比寄与度▲0.5%ポイント）

輸出は景気減速感が強まったASEAN向けが減少したほか、これまで下支え役だった米国向けも増勢が一服し、3四半期ぶりの減少。一方、輸入は堅調な内需などを背景に増勢が持続。その結果、外需のGDP寄与度は3四半期ぶりのマイナス。

(2) 10～12月期を展望すると、アジアをはじめとする海外経済の先行きに不安が残るものの、①緊急経済対策の本格化に伴い公共投資が引き続き景気押し上げに寄与すること、②消費税率引き上げを控えて個人消費の一部で駆け込み需要が徐々に顕在化すること（図表2）、③米国の堅調な経済成長や円安地合いを背景に輸出環境の一段の悪化は避けられること、などから、成長率は再び加速する見通し。



(資料)内閣府などを基に日本総研作成  
 (注1)家計部門=民間最終消費支出+民間住宅  
 (注2)企業部門=民間企業設備+民間在庫品増加  
 (注3)官公需=政府最終消費支出+公的固定資本形成+公的在庫品増加  
 (注4)外需=輸出-輸入



	1996年 7～9月期	1996年 10～12月期	1997年 1～3月期
駆け込み需要	+0.2%	+0.9%	+2.3%

(資料)内閣府、日本銀行などを基に日本総研作成  
 (注)  $\ln(\text{実質個人消費}) = \alpha + \beta * \ln(\text{実質可処分所得}) + \gamma * \ln(\text{実質家計金融資産残高}) + \delta * \ln(\text{実質個人消費} <-1期>)$  を推計式とし、実績値と推計値の乖離を表示。自由度修正済  $R^2 = 0.998$ 。

【ご照会先】 調査部 副主任研究員 下田裕介 (shimoda.yusuke@jri.co.jp , 03-6833-0914)

《QE予測シリーズ》は、直近四半期の日本経済、および法人企業統計の概況を解説するとともに、四半期別GDP速報の予測値と当面の景気見通しを示すものです。1次速報値と2次速報値について、年合計8回発表します。

GDP統計予測表(2013年10月30日時点の公表系列をもとに作成)

(株)日本総合研究所 調査部

■ 前期比

(%、十億円)

	実質GDP													名目GDP	デフレーター	
	内需								外需							
	民間				官公需				輸出			輸入				
	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫	輸出	輸入							
2012/ 4 ~ 6	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 0.3	0.1	2.1	▲ 0.7	▲ 1321.1	0.8	0.1	4.8	▲ 61.0	▲ 1118.9	▲ 0.2	1.3	▲ 0.9	▲ 0.6
7 ~ 9	▲ 0.9	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 0.4	1.6	▲ 3.2	678.4	1.0	0.4	3.4	37.3	▲ 3784.8	▲ 4.5	▲ 0.0	▲ 0.9	0.0
10 ~ 12	0.3	0.3	0.1	0.5	3.6	▲ 1.2	▲ 918.7	1.1	0.6	3.2	▲ 63.5	▲ 673.0	▲ 2.7	▲ 2.0	0.1	▲ 0.1
2013/ 1 ~ 3	1.0	0.6	0.7	0.8	1.9	▲ 0.0	▲ 168.8	0.3	0.0	1.4	▲ 2.6	2374.9	4.0	1.0	0.6	▲ 0.4
4 ~ 6	0.9	0.7	0.6	0.7	▲ 0.3	1.3	▲ 822.9	1.2	0.7	3.0	22.6	1315.0	3.0	1.5	0.9	▲ 0.0
7 ~ 9	0.4	0.8	0.6	0.1	3.4	1.0	696.9	1.6	0.3	6.5	17.3	▲ 2228.6	▲ 0.7	2.2	0.5	0.1

■ 前期比年率

(%、十億円)

2012/ 4 ~ 6	▲ 1.2	▲ 0.2	▲ 1.3	0.3	8.8	▲ 2.8	—	3.4	0.3	20.8	—	—	▲ 0.7	5.4	▲ 3.4	▲ 2.2
7 ~ 9	▲ 3.5	▲ 1.0	▲ 2.5	▲ 1.5	6.7	▲ 12.2	—	3.9	1.6	14.4	—	—	▲ 16.8	▲ 0.0	▲ 3.5	0.0
10 ~ 12	1.1	1.3	0.3	2.0	15.1	▲ 4.8	—	4.3	2.5	13.5	—	—	▲ 10.2	▲ 7.8	0.5	▲ 0.6
2013/ 1 ~ 3	4.1	2.4	2.8	3.4	7.7	▲ 0.1	—	1.2	0.2	5.8	—	—	16.8	4.1	2.6	▲ 1.4
4 ~ 6	3.8	3.0	2.3	3.0	▲ 1.0	5.1	—	4.9	3.0	12.7	—	—	12.4	6.2	3.7	▲ 0.0
7 ~ 9	1.6	3.4	2.4	0.6	14.2	4.2	—	6.4	1.4	28.8	—	—	▲ 2.8	9.2	2.1	0.5

■ 前年同期比

(%、十億円)

2012/ 4 ~ 6	3.8	3.8	4.0	3.1	4.7	7.0	178.0	3.4	2.2	11.3	▲ 11.9	245.2	9.2	9.1	2.8	▲ 1.0
7 ~ 9	0.3	1.9	1.2	1.3	1.5	1.5	▲ 159.9	4.3	2.3	15.1	▲ 1.8	▲ 1939.5	▲ 4.8	5.2	▲ 0.5	▲ 0.8
10 ~ 12	0.4	1.2	▲ 0.2	1.0	5.8	▲ 7.2	▲ 26.4	5.7	2.7	19.6	▲ 5.3	▲ 1241.4	▲ 5.0	1.1	▲ 0.3	▲ 0.7
2013/ 1 ~ 3	0.3	0.7	▲ 0.2	1.1	9.3	▲ 5.1	▲ 338.3	3.4	1.1	13.1	▲ 29.0	▲ 754.2	▲ 3.3	0.3	▲ 0.8	▲ 1.1
4 ~ 6	1.2	1.4	0.7	1.8	7.1	▲ 3.0	▲ 407.7	3.4	1.8	12.7	▲ 0.8	▲ 209.2	▲ 0.3	0.8	0.7	▲ 0.5
7 ~ 9	2.6	2.5	2.0	2.3	8.9	0.9	▲ 303.9	4.1	1.8	15.3	▲ 3.7	▲ 217.9	▲ 3.5	2.6	2.2	▲ 0.4

■ 前期比・寄与度

(%、%ポイント)

2012/ 4 ~ 6	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.3	0.0	0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	0.2	0.0	0.2	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.2	—	—
7 ~ 9	▲ 0.9	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.2	0.0	▲ 0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.0	▲ 0.7	▲ 0.7	0.0	—	—
10 ~ 12	0.3	0.3	0.1	0.3	0.1	▲ 0.2	▲ 0.2	0.3	0.1	0.2	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.4	0.3	—	—
2013/ 1 ~ 3	1.0	0.6	0.5	0.5	0.1	▲ 0.0	▲ 0.0	0.1	0.0	0.1	▲ 0.0	0.4	0.6	▲ 0.2	—	—
4 ~ 6	0.9	0.8	0.4	0.5	▲ 0.0	0.2	▲ 0.2	0.3	0.2	0.2	0.0	0.2	0.5	▲ 0.3	—	—
7 ~ 9	0.4	0.8	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1	0.3	0.0	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.4	—	—

■ 前期比年率・寄与度

(%、%ポイント)

2012/ 4 ~ 6	▲ 1.2	▲ 0.2	▲ 1.0	0.2	0.2	▲ 0.4	▲ 1.0	0.9	0.1	1.0	▲ 0.0	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 0.9	—	—
7 ~ 9	▲ 3.5	▲ 1.0	▲ 1.9	▲ 0.9	0.2	▲ 1.7	0.5	1.0	0.3	0.7	0.0	▲ 2.5	▲ 2.5	0.0	—	—
10 ~ 12	1.1	1.3	0.2	1.2	0.4	▲ 0.6	▲ 0.7	1.1	0.5	0.7	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 1.5	1.3	—	—
2013/ 1 ~ 3	4.1	2.5	2.1	2.1	0.2	▲ 0.0	▲ 0.1	0.3	0.0	0.3	▲ 0.0	1.7	2.4	▲ 0.7	—	—
4 ~ 6	3.8	3.0	1.8	1.8	▲ 0.0	0.7	▲ 0.6	1.3	0.6	0.7	0.0	0.8	1.9	▲ 1.1	—	—
7 ~ 9	1.6	3.4	1.8	0.4	0.4	0.6	0.5	1.7	0.3	1.5	0.0	▲ 2.1	▲ 0.4	▲ 1.7	—	—

■ 前年同期比・寄与度

(%、%ポイント)

2012/ 4 ~ 6	3.8	4.0	3.2	1.9	0.1	0.8	0.1	0.8	0.4	0.4	▲ 0.0	0.2	1.4	▲ 1.2	—	—
7 ~ 9	0.3	2.0	1.0	0.8	0.0	0.2	▲ 0.1	1.0	0.4	0.5	▲ 0.0	▲ 1.5	▲ 0.8	▲ 0.7	—	—
10 ~ 12	0.4	1.2	▲ 0.2	0.6	0.1	▲ 0.9	▲ 0.0	1.3	0.5	0.8	▲ 0.0	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 0.2	—	—
2013/ 1 ~ 3	0.3	0.8	▲ 0.2	0.7	0.2	▲ 0.8	▲ 0.3	0.8	0.2	0.6	▲ 0.0	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 0.0	—	—
4 ~ 6	1.2	1.5	0.6	1.1	0.2	▲ 0.4	▲ 0.3	0.8	0.4	0.4	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	—	—
7 ~ 9	2.6	2.5	1.5	1.4	0.2	0.1	▲ 0.2	1.0	0.3	0.6	▲ 0.0	0.2	0.5	▲ 0.4	—	—

(注1)民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2)実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。